

若者 インサイトラボ

LINE×博報堂ブランドデザイン若者研究所
スマホ調査で見えてくる“若者のリアル”
「若者インサイトラボ」
Vol.1

テーマ
「ハロウィン速報」

*11月に事後調査を踏まえたレポート本編を公開予定です

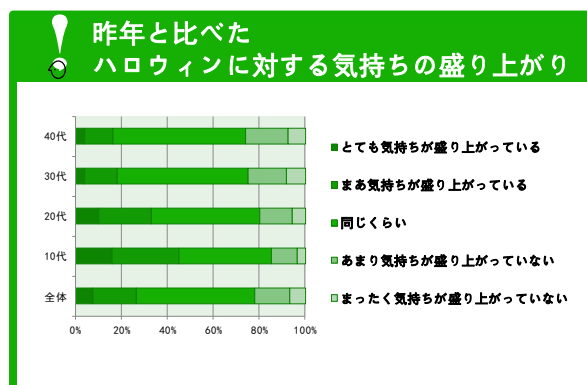
？ ハロウィンって年々市場が伸びてるっていうけれど…

！ ハロウィン市場はそろそろ頭打ち！？
参加率や意識は昨年と横ばいの結果に。

近年、「ハロウィン市場の規模はバレンタイン市場の規模を超えた」と言われている。ハロウィンの実態を探るべく若者インサイトラボが今回調査を実施。（2016年10月25日～26日 10代～40代の5,000人を対象）ハロウィンに使用した/使用する予定の金額を聴取したところ、1人あたりのハロウィン関連使用平均金額は昨年【4,312円】今年【5,239円】と上昇している。だが、一方で意外な結果が！ハロウィンへの参加率は昨年【57%】今年（予定含）【52%】とほぼ横ばい。ハロウィンに対する気持ちの盛り上がりも昨年と「ほぼ変わらない」と回答している人が【52%】と半数を超えた。ハロウィン消費は拡大しているものの、自ら積極的にハロウィンを楽しむのではなく、各所で行われているハロウィンキャンペーンに受動的に巻き込まれている生活者の実態が垣間見えた。

！ みんなハロウィンにいくら使ってるの？

今年のハロウィンで使用する予定の平均金額は【5,239円】だったが、その中でも「全身仮装をする」人の平均金額は【12,341円】と、平均金額に対し大きく上回る結果となった。また、「かぼちゃやステッカー、ガーランド、オブジェなどで飾りつけた」人の平均金額は【5,671円】と、今年の平均金額とほぼ変わらなかった。年代別では、20代後半の平均金額が【6,101円】と、若者の中で一番消費が多かった。

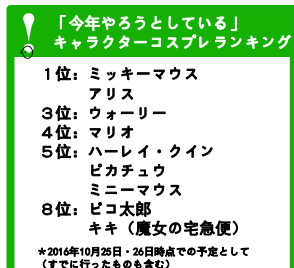


！ 電車に仮装したまま乗っても、意外と大丈夫？

マナー調査として「ハロウィンで気になること」を聞いた結果、「ゴミのポイ捨てや吐いたもので公共の場が汚れるかもしれないこと」が【66%】と特に多く、反感を買っていたよう。一方、「仮装した状態で電車など公共の乗り物に乗ること」は【26%】と、他マナーに比べ、意外とネガティブな印象はなく、好意的に捉えられていた。しかし、「子どもがゾンビメイク等を、怖がる。」などの意見もあり、グロテスクな仮装は苦手な人もいるので注意が必要だ。

！ 今年やる予定のコスプレ調査！意外と多いPPAP! ?

魔女やゾンビなど、ハロウィンらしいコスプレ以外にも流行りそうなコスプレが！特に気になるのは、「ペンパイナッポーアッポーペン」でおなじみの「ピコ太郎」さんや、映画『スーサイド・スクワッド』の“悪カワ”ヒロイン「ハレイ・クイン」。ペアで合わせられるマリオ&ルイージや、みんなで楽しめるウォーリー、ミニオンズも根強い人気。



若者インサイトラボとは…

LINE株式会社と博報堂ブランドデザイン若者研究所が、スマホをキーに若者のリアルな生態を解明するためスタートした共同プロジェクト。国内で6400万人（MAU）の豊富なユーザー基盤を誇り、国内最大級かつアクティブ性の高いスマートフォン調査パネル（約300万人 / 2016年10月時点）を保有するLINEと、若者のインサイトについて長年研究を続けてきた博報堂ブランドデザイン若者研究所が、共同で調査研究を実施、公開していきます。